



和歌山大学大学院観光学研究科 澤田幸輝 (Astrotourism Lab)

主催：自由応募（専門科目「インターンシップB」）

実習期間：5月11日～28日（14日間） 各4時間

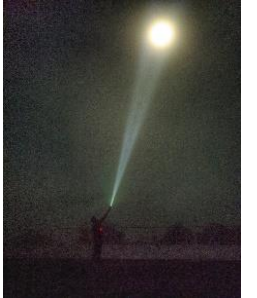
1. 業務成果面

- プラネタリウム解説を中心としたツアーガイド
 - 星のを見つけ方と来館者との相互コミュニケーションを重視
 - 北斗七星から各星たちを見つける手法
 - 来館者の反応に合わせてガイド内容を変える
- 「分かりやすかったです」などの感想
- 来館者の目線に立った施設展示物の作成



2. 自己成長・実務能力面

- 専門知識よりも分かりやすさが重要
 - 「義務教育レベルの理科知識で十分」
 - 「科学ニュースは必ず調べておく」
- ⇔ ブラックホールに対する知識が不十分だった
- 科学コミュニケーションの重要性、「おベンキョー」ではなく「経験」から科学に触れてもらうことを重視



3. 専門知識・学問・研究面

- アストロツーリストの視覚性をめぐる研究を遂行
 - SQMと来館者の夜空評価から分析
 - 両者には緩やかな相関が看取された
 - ⇔ SQM 20前後の値は都市郊外の結果であり、必ずしも「満天の星空」とは言えない値である
- ⇒ 来館者の観光経験の度合いを予備的に把握することができた



4. 進路選択面

- 職員の米澤様と『公開天文台白書2018』編纂
 - ⇒ JAPOS全国大会で成果物発表予定
- LANケーブルの製作、館内ネットワークの構築
 - ⇒ 工学的ものづくりの力も必要
- 200人以上の来館者に対してツアーガイド
 - ⇒ 「星のソムリエ®」正案内人資格の取得を目指す

